

「大阪府高等学校生物教育研究会協力会」たより 第17号
「大阪府高等学校生物教育研究会」協力会だより

第17号(2017年8月)

来年度、大阪府生物教育研究会創立70周年です！！

[▶▶だより第16号へ](#)

☆☆☆ 研究会活動と Active teaching ☆☆☆

[▶▶だより第18号へ](#)

会長 中野 俊勝

酷暑の候、協力会会員の皆様には、日々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、いつも協力会の活動にご理解ご協力賜っていますことに厚くお礼を申し上げます。

さて、去る5月19日(金)高津高校にて、平成29年度協力会総会を円滑に予定通り議事進行し、滞りなく終えました。そして、これに先駆けて行われました生物教育研究会総会において、協力

会を代表して、協力会会員の皆様の心のこもった助成金10万円を研究会に贈呈いたしました。

研究会総会におきまして、大きな議案として、来年度に研究会創立70周年となるので、今年度内に記念行事の内容を検討することが決まりました。

協力会としましても、来年度の研究会70周年記念行事を積極的に支援し、盛上げてゆきたいと思っております。来年度事前に、改めてご通知させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

ところで、次期学習指導要領が平成32年度から小・中・高校と順次改定されますが、来年度からは先行実施が始まります。所謂「ゆとり教育」からの脱却を目指した前回の改定では、PISA や全国学力調査において、一定の成果が見られました。しかし、その一方で、依然として世界と比

べて論理的思考力の不足、学習意欲や社会参画意識の低さが指摘されています。この改善を図る方策として、学ぶ側が自ら課題を発見し、解決そして成果を表現するまでの取り組みである「Active learning」(能動的学習)が考えられています。すでに大学教育で実践されてきた主体性を重視したこの学習活動を、今回、初等中等教育においても実施を目指しています。

その後、文部科学省は、次期学習指導要領においては、教育現場で過熱気味となっている「Active learning」を、「主体的対話的で深い学び」に置き換えています。肝心なことは、生徒が能動的学習態度を習得するためには、その前提として教員が積極的な教育活動に取り組む、「Active teaching」がまず求められます。

この活動の中心は、教材開発や指導法の改善などを組織的、計画的、継続的に行う研究会活動にあります。此の点で、大阪府高等学校生物教育研究会の活動の重要性が一層深まります。今後ますますの充実発展を期待するところです。

当協力会としましては、これまでも増して、支援活動を深めたいと考えております。つきましては、引き続き協力会の皆様のお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。それでは、これから厳しい暑さに向かいます。協力会会員の皆様のご自愛の程祈念申し上げます。

ご 挨拶

大阪高等学校生物教育研究会会長 寺岡 正裕

協力会の皆様、いつもお世話になっています。研究会会長2年目となりました寺岡です。

協力会からは本研究会に毎年助成金をいただき、お忙しいにもかかわらず、中野協力会会長、牧野副会長、辻本事務局長には研究会総会に出席いただき、その後の懇親会にも参加いただき、ありがとうございました。

お詫びがございます。本来なら総会に合わせ、平成28年度版の会誌を発行し、お渡しするところですが、係主担の不手際、作業の進行状況の連絡不十分、会としての協力体制の弱さが露

呈し、会誌編集に本格的に着手したのは6月9日の第1回委員会後でした。その後、有志担当者間で漏れ原稿の確認、執筆者への催促、原稿を会誌体裁に合わせる作業、校正作業、原稿確認、PDF化など行い、短期間で会誌印刷してくれる業者により、8月1日に発刊する運びとなりました。会誌を楽しみに待たれていた協力会の皆様、発行が遅れたこと、申し訳ありませんでした。ようやくお届けすることができます。

ただこの28年度版44号より会誌の名前を「大阪の生物教育」とし、表紙をカラー版にすることにし、刷新をはかりました。さらにこの44号の会誌編集でも大活躍いただいた橘淳治先生(初芝立命館)による力作、Archive DVD付の超お得版です。Archive DVDの巻頭言に「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ。」と誰かが言ったが、このArchive DVDをこの巻頭言を書くにあたり、拝見するとまさにその言葉が当てはまる。昭和23年(1948年)に産声を上げ69年目を迎える本研究会の諸先輩方の足跡の歴史そのものである。68年間の本研究会の歴史のうち、大阪の生物教育について毎年発刊している会誌が1972年から44年で44冊分、10年おきの周年行事の記念誌および大会記念誌が7冊分、生物実習書・解説書が12冊分、指標生物調査報告書等10冊分、その他の出版物として「生物作業教材集」など冊子10冊分と資料6点などなど、約70年間の大阪の生物教育の指導法が、情報が、歴史が満載です。」と書きました。

我々、現役の教員は「賢者」でありたいと願っております。来年度は研究会創立70周年を迎えます。若手中心で、ベテランが支える組織体制で記念行事・式典等を成功裏に終えたいと願っておりますが、まだまだ主体性をもって活躍してくれる若手が少ないのが現状です。研究会の歴史を作ってこられた協力会の皆様のお力添えを是非ともいただきたく存じます。それにより、我々現役も歴史をつくる一端を担いたいと願います。

今後とも本研究会の活動にご理解を賜り、ご支援・ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

事務局より

- ・「協力会だより」17号をお届けするのが遅くなりました。事情は上記「ご挨拶」の通り
- ・来年秋の研究会創立70周年については、次号で案内します。是非ご出席ください。
- ・来年、9年3期目を迎える「協力会」のあり方について検討中です。ご意見ください。

1 今年度(2017年)の行事

どの行事も、参加者希望者は3日前までに事務局(辻本)へTELかFAXまたはEmailして下さい。詳細をお知らせします。

(1)第9回総会(研究会総会と同日に実施済み) 詳細は下記報告記事

平成29年5月19日(金)府立高津高校記念館同窓会室

3時より研究会総会 研究会総会後の記念講演

講師:近畿大学生物理工学部分子発生工学研究室 宮本 圭先生

演題:『クローン動物がもたらした可能性』

4:30より協力会総会 5:20より懇親会

(2)第9回歴史散歩「富田林寺内町」(松本先生による案内)

1、日時:平成29年11月11日(土)

2、集合:近鉄長野線富田林西口駅改札口 13時00分集合 ・・小雨決行

3、コース:富田林西口駅→浄谷寺→寺内町センター→杉山家・住宅→仲村家→東高野街道・道標→興正寺→城ノ門筋→田守家→葛原家3階倉→薬師堂→奥谷家→越井家レンガべい→寺内町交流館→富田林駅

4、資料は当日配布、杉山家入場には400円必要

5、申し込みは11月8日までに事務局辻本まで

(3)植物観察会・・・研究会の行事「森林生態研究部会」に参加

宮井 一先生(枚方なぎさ高校)にお願いして、一緒に参加させていただきます。

日時は平成29年10月中旬 行先は箕面 8月下旬には詳細決定、参加希望者は協力会事務局
辻本まで問い合わせ下さい。

(4)研究会行事に参加

?「**会員研究発表会**」 毎年1月下旬から2月初旬に行われる。

?「**生徒生物研究発表会**」 毎年 11 月 23 日(祝)午前 10 時から大阪長居公園内
大阪市立自然史博物館で行われる。研究発表部門と活動報告部門とがある。

《報告記事》 平成29年度 生物教育研究会協力会総会

5月19日(金)午後4時 30 分から(生物教育研究会総会の後)

出席者:中野、牧野、辻本と賛助会員数名、研究会会員はオブザーバー参加

次第 (司会 牧野)

挨拶(協力会会長 中野)

平成 28 年度行事報告・会計報告(辻本)

平成 29 年度行事計画・会計予算(辻本)

閉会の挨拶(賛助会員代表 寺岡生物研究会会長)

その後、近くの店で講師を囲んで研究会との懇親会が行われた。

《報告記事》 平成 29 年度 生物教育研究会総会に出席して

牧野修司 記

研究会総会と記念講演が 5 月 19 日(金)に、大阪府立高津高等学校において行なわれました。

協力会正会員としては中野俊勝会長、辻本昭信氏、平岡誠志氏、牧野が参加しました。

総会の冒頭、来賓の挨拶で中野会長が研究会への激励を行ない、研究会の寺岡正裕会長に
助成金を贈呈しました。

研究会総会では、平成 28 年度の会務、会計、会計監査報告の後、平成 29 年度の委員が承認されました。昨年に続き委員には、若い世代が増えました。

さらに、平成 29 年度運営方針、予算などが承認されました。岡本元達事務局長から、来年度の研究会 70 周年への準備や、5年後？の日本生物教育会への大阪として立候補が紹介されました。また、今年度中に総会時を含め5回の講演会が実施されることになりました。

<記念講演>

講師: 近畿大学生物理工学部分子発生工学研究室 宮本 圭先生

演題: 『クローン動物がもたらした可能性』

講師の宮本 圭先生は、京都大学農学研究科博士課程を修了され、ケンブリッジ大学ガードン研究所博士研究員、及び同大学ウォルソンカレッジフェローをされた後、2015年4月より現職をされている。

講演では、アフリカツメガエルを用いて世界で初めて体細胞クローン動物を作製したジョン・ガードン博士について、博士の実際の実験映像が示されたり、生物学の成績票なども紹介されたり、さらに研究室での博士の行動などから、人となりがわかり極めて興味深かった。

ガードン博士の研究の後、種々の動物でクローン技術が応用可能であることがわかった。さらに、2006年山中伸弥氏がiPS細胞を樹立し、2012年のガードン博士とノーベル医学・生理学賞の共同受賞につながっている。

初期化(リプログラミング)の考え方から、発展してきたクローン技術は、遺伝資源の保存や、再生医療など極めて様々な応用が考えられる。

講師の宮本圭先生は、卵子の中の何が発生のために必要かを研究し、特定の物質を発見され、そして、クローニングの効率化や、卵子の発生がうまくいかない原因などを研究されているようであった。

詳細は、生物教育研究会ホームページに掲載されると思われるので省略します。

実際の画像などを使って、クローン技術をわかりやすく説明していただき、参加された現役の先生方も興味深く聞いておられたようであった。

《報告記事》 平成28年度末に定年を迎えられた先生方を囲む会に出席して

中野俊勝 記

平成29年6月9日(金)研究会第1回委員会がグランフロント大阪北館7階「ナレッジサロン」で行われ、その終了後、地下1階の「世界のビール博物館」に移って、囲む会が開かれました。

今回、定年を迎えられたのは、北浦隆生先生(追手門学院大手前)、中井一郎先生(大教大附属平野)、出原茂樹先生(府立和泉)の3名でした。

参加者は研究会から16名、協力会からは、辻本昭信先生と私の2名でした。私達協力会の居酒屋世代にとっては、大阪の人気スポットである場所での囲む会は、随分ハイカラな感じがしました。

が上がっていました。そして、宴半ばで退職のそれぞれの先生方に、研究会活動にて関係の深かった先生から、花束と記念品(きれいな樹脂包埋の植物標本)が贈呈されました。続いて、3名の先生方から、思い出多い在職時代の研究会との関わりや、退職後の新たな仕事の状況についてのお話を聞かせてもらいました。

研究会での中心的な活動をしてこられた先生方のお話は重みがある内容で、これによって、会是一段と盛り上がりました。最後に、研究会寺岡会長の挨拶で閉会となりました。

2. 平成29年度予算

収入	支出
前年度繰越金 232,417円	発送経費(第16号、第17号)
会費・寄付金 130,000円	15,000円
	会費払込料金 4,000円
	事務費(コピーなど) 1,000円

	助成金	100,000円
	予備費	242,417円
<u>収入合計</u>	<u>362,417円</u>	<u>支出合計 362,417円</u>

新 3. 29年度『大阪府高等学校生物教育研究会協力会』会員(H30.3.1現在)

(記載順は生物教育研究会会誌役員名簿による)

(正会員)

今安達也	松田仁志	和佐眞宏	江坂高志	渡邊勉治郎
足立 堯	萱村善彦	福坂邦男	古久保俊子	江藤昌晴
吉川 浩	河野成孝	梶村重次	中野俊勝	辻本昭信
松本 弘	山住一郎	澄川冬彦	奥本 隆	石崎英男
富田織江	小畑和人	牧野修司	奥野嘉彦	大江 進
竹林隆昭	大島みどり	杉山友恵	平岡誠志	広瀬祐司
佐々木洋一	井上慎一			以上32名

(賛助会員)

以上5名 ★住所、電話等の個人情報につ

いては事務局へお問い合わせください。

4. 会員の近況(順不同)

この欄は、振込用紙やはがき等により連絡があったものを記載します。

皆様もどうかご一報ください。また、投稿記事も歓迎します。

柴原信彦

今年、大阪市立都島第二工業高校へ転勤となりました。よろしく申し上げます。

古久保俊子

岸和田高女(昭 17.4 月入学)の米寿の集いがありました。当時、府立高女は 50 名 5 クラス 1 学年 250 名でしたが、昨年の参会者は 26 名。戦中・戦後を経過した数々の思い出話に花が咲き、互いの無事を喜び合いながらとても幸せなひとときを過ごして参りました。

中井一郎

賛助会員として入会を希望します。会費を送金します。

澄川冬彦

ご無沙汰いたしております。相変わらずSSHでバタバタしております。本年もよろしくお願い申し上げます。

福坂邦男

辻本先生、年々大変お世話になっています。生研発展のためよろしくお願いします。

佐々木洋一

5 月 19 日の生研総会、協力会総会には先約が有り、出席できません。協力会行事には参加させていただきたいと思っております。皆さんによりしくお伝えください。

井上慎一

ご連絡ありがとうございます。3 月末で退職しました。今後ともよろしくお願いします。

足立 堯

寝屋川市自然を学ぶ会の活動を 17 年、寝屋川市自然資料施設の運営を 10 年、多くの市民や子供たちと自然を楽しんでいます。

石崎英男

首に続いて腰の脊椎管狭窄手術をしましたが改善なし。どうにか百姓を相変わらずしています。

今春バナナがどうにか越冬し 6 段 70 本収穫しました。おいしいです。

5. 協力会役員と事務局、

・会長・・・中野俊勝 ・ 副会長・・・牧野修司

・幹事(事務、会計、会計監査)・・・松本弘、梶村重次、大島みどり、辻本昭信

・賛助会員代表・・・寺岡正裕、柴原信彦

・事務局(辻本昭信)電話072-675-1710 メール s.tsujimoto@tcn.zaq.ne.jp 迷惑メール対

策で◎にしています。

研究会のホームページ(<http://seiken.sub.jp/>)に「協力会」の記事を掲載

 [Home](#) 